

開所式所長あいさつ要旨

来賓各位ご参会の皆様  
 本日は当研究所の開所に当たりご多用の中を御光来下  
 され有り難く、厚く御礼申し上げます。さらには、御懇篤な  
 商工会議所御祝詞を賜りました。神奈川県知事殿、横浜  
 市市長殿、平塚市長殿、河  
 原良雄先輩に衷心より御礼申し上げます。

さて、本研究は学校法人神奈川大学が今後展開しよ  
 うとする新しい高等教育体制の一環として設立するもの  
 であり、我が国の次世代社会の基盤となる知識情報の確  
 立を目的とするものであります。  
 情報知能の高度化は、科学技術の全体にわたります。  
 すなわち、情報素材となるベンチサイドの生データを取  
 得はもとより、情報から有用な知識を形成するための知  
 脳活動や、さらに情報を創出することは、この知識をもつて社  
 会に有用なデバイスを開発することまで含むことが出来  
 ます。また、現代の科学技術は、その力により、情報を知  
 識とし、それがさらに次の知識を生むものと考えられま  
 す。化学、生物を対象とする物質、エネルギーの科学と物  
 理、人間社会との直接的な関係、数物の科学と、さら  
 らには、人間社会との直接的な関係、数物の科学と、さら  
 るものは、人間社会との直接的な関係、数物の科学と、さら  
 るものは、人間社会との直接的な関係、数物の科学と、さら  
 知識情報の世界を体系化し、社会に有用な成果をもたら  
 すことを目的とするものであります。

具体的には、私共は研究所内外のメンバーによる研究活  
 動のほか、当面フォーラムの開催や、共同研究、および出  
 版活動を進めたいと考えております。

第一のフォーラムは先端科学技術の現状の把握を目的  
 として、国際集会であり、生涯教育を推進する  
 シックフロンティアは、幸い日本産業技術振興協会のご支援を  
 得ることが出来、プロダクトの半分を通産省関連の先端  
 科学技術の紹介で構成し、湘南地区におけるエ  
 ンタープライズ、バイオフィニクス、関係の材料関係  
 クロニクス、バイオニクス、関係の材料関係  
 ることとなります。同協会は、筑波地区では、材料関係  
 主として、大学の大学院レベルの科学技術教育を  
 は、新しい時代の大学院レベルの科学技術教育を  
 のため、若い学生のみでなく、既に社会にあって、一  
 なして、若くは、中堅、上級指導層の方々の継続、生  
 の場を、つくり出すこと、このため、内外の主要研究者に  
 え、適時、特定の主題について、内外の主要研究者に  
 際集会を持つことも企画中であり、主要研究者による  
 は、後刻別途に皆様に御案内申し上げます。

第二の共同研究は、「ゆらぎ、ノイズ」を主題にして、  
 の内外の研究者と研究を進める予定であり、また出版は、  
 当面私共が先年来仕事を進めております科学技術基本用  
 語の策定作業の結果を逐次刊行することから始め、フ  
 ォーラムや国際集会の内容をひろく社会に報告してゆき  
 たいと考えております。  
 以上の趣旨、内容により、出発し、何卒格段の御支援指  
 導を賜わりたくお願い申し上げます。

昭和六十一年七月四日

学校法人 神奈川大学  
 所長 藤原 鎮 男